



町消防団の秋季検閲が10月27日、ふれあい公園で行われ、消防団員ら約200人が参加しました。

当日は、秋晴れのもと、観覧から始まり、分列行進や通常点検、ラッパ隊の演奏披露、小隊訓練、ポンプ車操法訓練、小型ポンプ操法訓練などが行われ、日ごろの練習成果を披露しました。

続く式典では、町消防団長表彰をはじめとする各種表彰が行

われ、消防活動に貢献した団員らを表彰。受章者代表謝辞では、第4分団第1部の上田克彦班長が「大変光栄に思う。この栄誉は、団長をはじめ、先輩や同僚の指導の賜物。今日の感激を肝に銘じ、消防人として地域住民の安全・安心を守るために、よりいっそう精進する」と述べました。

参加団員らは、消防技術の確認と技術向上の決意を新たにしました。

1・2_ 団員らが連携し放水までの動作を披露するポンプ車操法訓練と小型ポンプ操法訓練 3_ 消防車両による観閲 4_ 統監の高橋町長による通常点検 5_ 謝辞を述べる受章者代表の上田班長 6_ 一体感を披露する小隊訓練 7_ 士気を高めるラッパ隊の演奏

ふれあい公園で訓練披露 町消防団秋季検閲



第49回桑折町文化祭が10月19日、20日の2日間、町民体育館とイコーゼで開かれ、町内外から約1,400人が訪れました。

今年のテーマは、「みんなで創ろう文化交流の輪」。体育館入口に、来場者参加型のビックアート「住人十色みんなの森」を設置し、色とりどりの葉っぱに町への思いやメッセージを寄せてもらいました。このほか、子どもから大人まで、多くの地域住民が手掛けた絵

画や書道、写真などを一堂に展示。来場者はスタンブラリーを楽しみながら、一つ一つのブースをじっくり鑑賞したり、ワークショップに参加したりしました。イコーゼでは、23団体が歌やダンス、合奏など、日ごろの活動成果を披露。観客と一緒に歌ったり、体を動かしたりする場面もあり、会場はあたたかい雰囲気になりました。そのほかの写真はこちらから▼

1_ 華やかな衣装で優雅なダンスを披露 2_ 心に寄り添う合唱 3_ 今年初開催のビックアート 4_ 親子共演で会場を笑顔に 5_ 大正琴の音色しっとり 6_ 温もり伝える絵手紙体験 7_ 華麗に舞う若き日本舞踊家 8_ 鳴子を手に躍動



▲町内をくまなく巡回し、火の用心を呼びかけるため、役場を出発する消防車両

秋の全国火災予防運動町内パレードが11月10日、町全域で行われました。消防車両5台が出動し、消防団や女性消防隊、女性防火クラブから約30人が参加しました。

消防車両は役場を出発し、町内をくまなく巡回。女性消防隊らが車両に乗り込み「火災の発生しやすい

時季を迎えます。火を使用する際は十分注意し、火災予防に努めましょう」などと呼びかけ、火の用心を啓発しました。

▼町消防団では、随時団員を募集しています。興味のある人は、生活環境課 危機管理係（☎5822123）まで問い合わせください。

火の用心を啓発 秋の全国火災予防運動パレード



▲チーム一丸となって白熱した試合を繰り広げた桑折町チームの皆さん

「第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会」で、桑折町チームの試合が10月6日、12日、13日、相馬光陽ソフトボール場で開かれ、熱戦を繰り広げました。

町チームは、大熊町との1回戦および浅川町との2回戦に勝利し、昨年度準優勝の国見町と対戦しました。試合は1回表に3点を

挙げるも、その裏に6失点を許す厳しい展開となりましたが、3回表には6点を取り返し逆転。しかし、その裏にさらなる失点を許し、9対11で試合終了。惜しくも勝利を逃しましたが、選手たちは全力を尽くし、昨年の結果を上回るベスト16の結果を収めました。

桑折町チームベスト16 市町村対抗福島県ソフトボール大会